

Our Growth Strategy

神戸製鋼グループ中長期経営ビジョン

KOBELCO VISION “G”

5～10年後のグループ像

グローバル市場において存在感のある企業グループ

安定収益体質と強固な財務基盤を備え持つ企業グループ

株主・取引先・従業員・社会と共栄する企業グループ

鉄鋼、溶接、アルミ・銅などの
素材系と、産業機械、資源・エ
ンジニアリング、建設機械な
どの機械系の多様な技術やノ
ウハウの融合を進める



G

業績イメージは連結売上高3兆円程度、経常利益2,000億円超

神戸製鋼グループは、2010年4月より中長期経営ビジョン「KOBELCO VISION “G”」をスタートしました。従来の数値計画を中心とした中期経営計画とは異なり、概ね5年から10年後の将来を見据えた当社グループの方向性、すなわち中長期ビジョンを中心に策定しています。

策定にあたっては、中長期的な世界経済ならびに事業環境などを見通したうえで、当社グループが目指すべきグループ像を掲げました。このグループ像の実現に向けて、5

つの基本方針の下、連結売上高3兆円程度、経常利益2,000億円超、デッド・エクイティ・レシオ1.0倍の達成を目指します。また、積極的なグローバル展開の推進により、海外売上比率を50%程度まで引き上げることが想定しています。

私たち神戸製鋼グループは、持続的成長を実現する中長期経営ビジョン「KOBELCO VISION “G”」の達成に向けて、日々、着実に進化しています。

中長期的な環境認識

- ・少子高齢化、製造業の国外移転などを背景に国内需要は総じて減少
- ・新興国を中心に海外の需要が伸長
- ・低炭素社会に向けて需要構造が急速に変化(国内での操業制約、自動車のHV/EV化など)

「KOBELCO VISION “G”」5つの基本方針

1 オンリーワンの徹底的な追求

- ・多様な知識や技術を融合して、当社グループならではの新たなオンリーワンを創出
- ・変化する顧客ニーズを常に発掘・捕そくし、より良い製品・技術として反映することで顧客満足度を向上
- ・既存ビジネスの川下や川上の領域にも事業展開することで、付加価値を飛躍的に向上

2 ものづくり力の更なる強化

- ・「ものづくり力」とは、「“永続的に”信頼される技術、製品、サービスを提供する力」であり、成長のための「エンジン」
- ・この当社グループの競争力の源泉であるものづくり力の強化に、グループ全体で取り組む

3 成長市場への進出深化

- ・新興国を中心とする成長地域での事業展開を強化
- ・環境・資源・エネルギーなど国内外の成長分野への取り組みを加速

4 グループ総合力の発揮

- ・技術・人材・情報・アイデア・知恵などを、価値観や組織の枠を超えて有機的に結合し、新たな価値を創造する
- ・事業基盤の強化・変革を担うことのできるグループ人材、グローバルな事業展開にも対応可能な人材を計画的に育成

5 社会への貢献

- ・コンプライアンスに対する「感度」の高い企業風土を醸成するとともに、地域社会や環境問題への貢献を中心として、積極的に社会的責任を果たす

連結売上高のイメージ

